

秋田県総合生活文化会館に係る指定管理者の候補者の選定方法及び結果について

● 選定の方法

- 1 申請団体から提出された事業計画書等により、選定基準に沿って設定した審査項目ごとに各委員が評価（評点付け）を行った。
（評点）
5点：特に優れている
4点：優れている
3点：やや優れている
2点：やや劣っている
1点：劣っている
- 2 全委員の評点を合計し、選定基準のウエイトをもとに評点の合計を100点換算した。（満点を100点として再計算）
（申請団体の評点については、下記の「評点表」を参照）
- 3 2をもとに委員間で総合的観点から議論・検討し、適当と認められる団体を指定管理者の候補者として選定した。
（議論・検討の概要については、下記の「総合評価（選定結果）」を参照）

○ 評点表

	1 県民の平等利用の確保 (適合しなければ失格)	2 施設の設置目的の効果的達成 (配点25点)	3 効率的な管理 (配点10点)	4 適正かつ確実な管理を行う能力 (配点40点)	5 会館の設置目的・特性に応じた取組 (配点15点)	6 県の重要施策推進に係る項目 (配点10点)	合計 (満点：100点)
厚生ビル管理株式会社	○	19.8	7.4	31.4	11.0	5.0	74.6

■ 総合評価（選定結果）

- 厚生ビル管理株式会社は、施設の設置目的を十分に理解し、適正かつ確実な管理が期待できること、経験豊富な音楽プロデューサーが継続的に従事するなど、適正な人員を配置していることなどから、総合生活文化会館の業務を担える能力を十分有している。
- 厚生ビル管理株式会社からは、文化振興に係る普及啓発型事業やアウトリーチ型事業について具体的な提案がなされたほか、質の高い公演の企画にも意欲的に取り組む姿勢が評価された。
- 文化芸術の分野は女性の活躍も多いことから、県の重要施策である女性の活躍推進にもより一層力を入れて取り組んで欲しいという意見があった。
- ◎ このことから、厚生ビル管理株式会社を指定管理者の候補者として選定することに決定した。